

# 目次

## まえがき

第 1 調査の概要	1
第 1 章 調査の目的等	2
1 調査の目的	2
2 調査の対象	2
3 標本の抽出	2
4 調査の基準日	2
5 調査の事項	2
6 調査の方法	3
7 調査の機構	3
8 根拠規定	3
9 集計の対象	3
10 報告書の構成	4
11 利用上の注意	5
12 調査項目	7
第 2 章 調査実施までの経過	13
第 2 結果の概要	15
第 1 章 調査対象者の概要	16
1 身体障害者手帳、愛の手帳及び精神障害者保健福祉手帳の交付数	16

2	調査対象者の状況	17
3	回答者の状況	18
<b>第2章 身体障害者の状況</b>		
1	基本的属性	19
(1)	性・年齢階級	19
(2)	性別 - 障害名〔複数回答〕別	20
(3)	年齢階級 - 障害名〔複数回答〕別	21
(4)	現在の生活の場 - 身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕別	22
(5)	住まいの種類 - 障害名〔複数回答〕別	23
(6)	一緒に暮らしている人〔複数回答〕	
	- 障害名〔複数回答〕、障害をもった時期別	24
(7)	配偶者の手帳所持の有無と手帳の種類〔複数回答〕	25
(8)	配偶者の手帳所持の有無と手帳の種類〔複数回答〕 - 年齢階級(本人)別	25
2	障害の状況	26
(1)	障害の種類〔複数回答〕	26
(2)	身体障害者手帳の等級(障害名別)	
	- 身体障害者手帳の等級(総合等級)別	27
(3)	身体障害者手帳の等級(総合等級) - 障害名〔複数回答〕別	28
(4)	障害を持った時期 - 身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕別	29
(5)	障害を持った時期 - 年齢階級別	30
(6)	主な障害の原因 - 障害名〔複数回答〕別	31
(7)	障害の疾病名〔複数回答〕 - 障害名〔複数回答〕別	32
(8)	身体障害者手帳以外の手帳所持の有無〔複数回答〕	
	- 障害名〔複数回答〕別	34
3	健康・医療	35
(1)	過去1年間の受診の有無	35
(2)	過去1年間の医療費助成の利用	35
(3)	過去1年間の医療費助成の利用 - 年齢階級別	36
4	日常生活の状況	37
(1)	日常生活動作能力	37
(2)	日常生活動作能力(a食事をとる b家事(調理・洗濯・掃除)をする cトイレを使う) - 障害を持った時期、身体障害者手帳の等級(総合等級)別	38
(3)	日常生活動作能力(a食事をとる b家事(調理・洗濯・掃除)をする cトイレを使う) - 障害名〔複数回答〕、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	39

(4)	日常生活動作能力 (d 着替えをする e 入浴をする f 寝返りをする ) - 障害を持った時期、身体障害者手帳の等級 (総合等級) 別	40
(5)	日常生活動作能力 (d 着替えをする e 入浴をする f 寝返りをする ) - 障害名〔複数回答〕、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	41
(6)	日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外出をする i 日常の買い物) - 障害を持った時期、身体障害者手帳の等級 (総合等級) 別	42
(7)	日常生活動作能力 (g 家の中を移動する h 外出をする i 日常の買い物) - 障害名〔複数回答〕、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	43
5	就労の状況	44
(1)	収入を伴う仕事の有無 (調査基準日現在) - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別	44
(2)	仕事の種類〔複数回答〕 - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別	45
(3)	1週間の就労日数 - 障害名〔複数回答〕、仕事の種類〔複数回答〕別	46
(4)	1週間の労働時間 - 障害名〔複数回答〕、仕事の種類〔複数回答〕別	47
(5)	1週間の労働時間 - 年齢階級、手帳の等級 (総合等級) 別	48
(6)	就職した時期 - 障害名〔複数回答〕、年齢階級、仕事の種類〔複数回答〕別	49
(7)	就職をするために支援を受けたところ (人)〔複数回答〕	50
(8)	現在の仕事に就いてからの期間 - 年齢階級、仕事の種類〔複数回答〕別	51
(9)	仕事をしていく上で困ること〔3つまでの複数回答〕 - 身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕、仕事の種類〔複数回答〕別	52
(10)	仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕 - 身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕、仕事の種類〔複数回答〕別	53
(11)	作業所、授産施設の利用の有無 - 仕事の種類〔複数回答〕別	54
(12)	現在仕事をしていない理由〔3つまでの複数回答〕 - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別	55
(13)	会社等での就労経験の有無 - 年齢階級、収入を伴う仕事の有無別	57
(14)	会社等での就労意向の有無 - 年齢階級別	58
(15)	現在会社等で働いていない理由	58
6	経済基盤	59
(1)	収入の種類〔3つまでの複数回答〕 - 障害名〔複数回答〕別	59
(2)	年金・恩給の受給の有無 - 年齢階級別	60
(3)	年金・恩給の収入額 - 年齢階級別	61
(4)	生活保護の受給の有無 - 年齢階級別	62
(5)	平成19年の収入額 (生活保護費を除く) - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別	63
7	社会参加等	64
(1)	平日の日中に過ごす場所 - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別	64

(2) 現在利用している通所施設に対する不満〔複数回答〕	
- 障害名〔複数回答〕、年齢階級別	65
(3) 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕 - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別	66
(4) 社会参加をする上で妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕	
- 障害名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別	67
(5) 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕	
- 障害名〔複数回答〕、障害を持った時期別	68
8 情報の入手やコミュニケーションの手段	69
(1) 情報の入手やコミュニケーションの手段（視覚障害者）〔複数回答〕	69
(2) 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ること（視覚障害者）	
〔2つまでの複数回答〕	70
(3) 情報の入手やコミュニケーションの手段（聴覚障害者）〔複数回答〕	71
(4) 情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ること（聴覚障害者）	
〔2つまでの複数回答〕	72
(5) 意思を伝える場合に困ること〔複数回答〕	
- 障害名〔複数回答〕、年齢階級別	73
(6) 情報の入手やコミュニケーションを円滑にするために利用している	
日常生活用具〔複数回答〕 - 障害名〔複数回答〕別	74
9 障害者自立支援法による障害福祉サービス等	76
(1) 障害者自立支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕	76
(2) 障害者自立支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕	
- 障害名〔複数回答〕、年齢階級別	77
(3) 障害者自立支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕	
- 介護保険制度の利用の有無別	78
(4) 居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕	79
(5) サービス支給量は十分か（居宅介護、短期入所）	79
(6) 障害者自立支援法における障害程度区分	80
(7) 障害者自立支援法における障害福祉サービスの費用負担	80
(8) 介護保険制度の利用の有無 - 障害名〔複数回答〕、年齢階級別	81
(9) 介護保険の要介護度 - 身体障害者手帳の等級（総合等級）別	82
(10) 介護保険法におけるサービスの費用負担	82
(11) 介護保険で受けている在宅サービス	
- 障害名〔複数回答〕、介護保険の要介護度別	83
(12) 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容	
- 障害名〔複数回答〕、介護保険の要介護度別	84
(13) 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で困っていること	
- 障害名〔複数回答〕、年齢階級別	85

10	施設入所（施設入所者対象）	86
(1)	入所している施設の種類	86
(2)	施設定員	86
(3)	入所を決めた人とその理由	87
(4)	入所年数	87
(5)	施設での生活の不满〔2つまでの複数回答〕	88
11	その他の福祉サービス等	89
(1)	困ったことがあったときの相談先〔複数回答〕	
	- 障害名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別	89
(2)	将来暮らしたいところ - 年齢階級、現在の生活の場別	90
(3)	将来暮らしたいところ	
	- 障害名〔複数回答〕、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	91
(4)	地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕	92
(5)	地域生活をする上で必要な福祉サービス等〔3つまでの複数回答〕	
	- 身体障害者手帳の障害名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別	93
第3章 知的障害者の状況		95
1	基本的属性	95
(1)	性・年齢階級	95
(2)	性別 - 愛の手帳の程度別	96
(3)	年齢階級 - 愛の手帳の程度別	96
(4)	現在の生活の場 - 愛の手帳の程度別	97
(5)	住まいの種類 - 年齢階級、愛の手帳の程度別	98
(6)	一緒に暮らしている人〔複数回答〕	
	- 年齢階級、住居の種類、愛の手帳の程度別	99
2	障害の状況	100
(1)	愛の手帳の程度 - 年齢階級別	100
(2)	愛の手帳以外の手帳の所持の有無〔複数回答〕 - 愛の手帳の程度別	100
3	健康・医療	101
(1)	過去1年間の受診の有無	101
(2)	過去1年間の医療費助成等の利用	101
(3)	過去1年間の医療費助成の利用〔複数回答〕	
	- 年齢階級、愛の手帳の程度別	102
4	日常生活の状況	103
(1)	日常生活動作能力	103

(2)	日常生活動作能力（a 食事をとる b 家事（調理・洗濯・掃除）をする c トイレを使う） - 愛の手帳の程度、回答者、 現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	104
(3)	日常生活動作能力（d 着替えをする e 入浴をする f 寝返りをする） - 愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	105
(4)	日常生活動作能力（g 家の中を移動する h 外出をする i 日常の買い物） - 愛の手帳の程度、回答者、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	106
5	就労の状況	107
(1)	収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在） - 年齢階級、愛の手帳の程度別	107
(2)	仕事の種類〔複数回答〕 - 年齢階級、愛の手帳の程度別	108
(3)	1週間の就労日数 - 愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別	109
(4)	1週間の労働時間 - 愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別	110
(5)	就職をするために支援を受けたところ（人）	111
(6)	現在の仕事に就いてからの期間 - 年齢階級、仕事の種類〔複数回答〕別	112
(7)	仕事をしていく上で困ること〔3つまでの複数回答〕 - 年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別	113
(8)	仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕 - 年齢階級、愛の手帳の程度、仕事の種類〔複数回答〕別	114
(9)	作業所、授産施設の利用の有無 - 仕事の種類〔複数回答〕別	115
(10)	現在仕事をしていない理由〔3つまでの複数回答〕 - 年齢階級、愛の手帳の程度、収入を伴う仕事の有無、回答者別	116
(11)	会社等での就労経験の有無 - 愛の手帳の程度、収入を伴う仕事の有無別	118
(12)	会社等での就労意向の有無 - 年齢階級、愛の手帳の程度、回答者、収入を伴う仕事の有無別	119
(13)	現在会社等で働いていない理由	120
6	経済基盤	121
(1)	収入の種類〔3つ以内の複数回答〕 - 愛の手帳の程度別	121
(2)	年金・恩給の受給の有無 - 年齢階級別	122
(3)	年金・恩給の収入額 - 年齢階級、愛の手帳の程度別	123
(4)	平成19年中の収入額（生活保護費を除く） - 年齢階級、愛の手帳の程度別	124
7	社会参加等	125
(1)	平日の日中に過ごした場所 - 年齢階級、愛の手帳の程度別	125

(2)	現在利用している通所施設に対する不満〔2つまでの複数回答〕 - 年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別	126
(3)	趣味や社会活動への参加〔複数回答〕 - 愛の手帳の程度、年齢階級別	127
(4)	社会参加をする上で妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕 - 愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別	128
(5)	障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕 - 年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別	129
8	情報の入手やコミュニケーションの手段	130
(1)	情報の入手やコミュニケーションの手段〔複数回答〕	130
(2)	情報を入力したり、コミュニケーションをとる上で困ること 〔2つまでの複数回答〕 - 年齢階級、愛の手帳の程度、回答者別	132
9	障害者自立支援法による障害福祉サービス等	133
(1)	障害者自立支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕	133
(2)	障害者自立支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕 - 愛の手帳の程度、愛の手帳以外の手帳所持の有無別	134
(3)	居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕	135
(4)	サービス支給量は十分か（居宅介護、短期入所）	135
(5)	障害者自立支援法における障害程度区分	136
(6)	障害者自立支援法における障害福祉サービスの費用負担	136
(7)	日常生活自立支援事業の利用意向 - 愛の手帳の程度、 現在一緒に生活している人〔複数回答〕、回答者別	137
(8)	成年後見制度の利用意向 - 愛の手帳の程度、 現在一緒に生活している人〔複数回答〕、回答者別	138
(9)	介護保険制度の利用の有無 - 年齢階級別	139
10	施設入所（施設入所者対象）	140
(1)	入所している施設の種類	140
(2)	施設定員	140
(3)	入所を決めた人とその理由	141
(4)	入所年数 - 年齢階級別	141
(5)	入所施設数	142
(6)	施設での生活の不満〔2つまでの複数回答〕	142
11	その他の福祉サービス等	143
(1)	困ったことがあったときの相談先〔複数回答〕 - 愛の手帳の程度、平日の日中主に過ごしたところ別	143
(2)	将来暮らしたいところ - 年齢階級、回答者、現在の生活の場別	144





4	日常生活の状況	164
(1)	日常生活動作能力	164
(2)	日常生活動作能力 (a 食事のしたくや後片付け b 掃除、洗濯 (干してたたむまでを含む) c 日常の買い物) - 年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕	165
(3)	日常生活動作能力 (d 身だしなみ e お金の管理 f 薬の管理 (決まった時間に飲むなど) - 年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別	166
(4)	日常生活動作能力 (g 銀行、郵便局等の利用 h バス、電車等の利用) - 年齢階級、障害の等級、診断名〔複数回答〕別	167
(5)	過去1年間で困ったこと〔複数回答〕 - 年齢階級、診断名〔複数回答〕別	168
5	就労の状況	169
(1)	収入を伴う仕事の有無 (調査基準日現在) - 年齢階級別	169
(2)	収入を伴う仕事の有無 - 診断名〔複数回答〕別	170
(3)	仕事の種類〔複数回答〕 - 年齢階級、精神障害者保健福祉手帳の等級別	171
(4)	1週間の就労日数 - 仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別	172
(5)	1週間の労働時間 - 仕事の種類〔複数回答〕、診断名〔複数回答〕別	173
(6)	就職した時期 - 性別	174
(7)	就職をするために支援を受けたところ (人)〔複数回答〕 - 性別	174
(8)	現在の仕事に就いてからの期間 - 性別	175
(9)	仕事をしていく上で困ること〔複数回答〕 - 性別	176
(10)	仕事で困ったときの相談先〔複数回答〕 - 性別	176
(11)	作業所、授産施設の利用の有無 - 性別・仕事の種類〔複数回答〕別	177
(12)	現在仕事をしていない理由〔複数回答〕 - 年齢階級、収入を伴う仕事の有無別	178
(13)	会社等での就労経験の有無 - 収入を伴う仕事の有無別	180
(14)	会社等での就労意向の有無 - 精神障害者保健福祉手帳の障害の等級別	180
(15)	現在会社等で働いていない理由	181
6	経済基盤	182
(1)	収入の種類〔3つまでの複数回答〕 - 年齢階級、年間収入額 (生活保護費を除く)、診断名〔複数回答〕別	182
(2)	年金・恩給の受給の有無 - 年齢階級別	183
(3)	生活保護の受給の有無 - 年齢階級別	183
(4)	年間収入額 (生活保護費を除く) - 年齢階級別	184

(5) 年間収入額（生活保護費を除く）	
- 障害の等級、診断名〔複数回答〕別	185
7 社会参加	186
(1) 平日の日中に過ごす場所 - 年齢階級、診断名〔複数回答〕別	186
(2) 現在利用している施設に対する不満〔2つまでの複数回答〕	
- 性別、平日の日中主に過ごしたところ別	187
(3) 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕	
- 年齢階級、診断名〔複数回答〕別	188
(4) 社会参加をする上で、妨げになっていること〔3つまでの複数回答〕	
- 年齢階級、診断名〔複数回答〕別	189
(5) 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕	
- 年齢階級、診断名〔複数回答〕別	190
8 情報の入手やコミュニケーションの手段	191
(1) 情報の入手やコミュニケーションの手段	191
(2) 情報を入手したりコミュニケーションをとる上で困ること	192
9 障害者自立支援法による障害福祉サービス等	193
(1) 障害者自立支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕	193
(2) 障害者自立支援法で利用したサービス（過去1年間）〔複数回答〕	
- 年齢階級、障害の等級別	194
(3) 居宅介護等のサービスの種類〔複数回答〕	195
(4) サービス支給量は十分か（居宅介護、短期入所）	195
(5) 障害者自立支援法の障害程度区分	196
(6) 障害者自立支援法における障害福祉サービスの費用負担	196
(7) 日常生活自立支援事業の利用意向 - 障害の等級、診断名、回答者別	197
(8) 成年後見制度の利用意向	
- 障害の等級、診断名〔複数回答〕、回答者別	198
(9) 介護保険制度の利用の有無 - 年齢階級別	199
(10) 介護保険制度の要介護度	199
(11) 介護保険法におけるサービスの費用負担	200
(12) 介護保険で受けている在宅サービス	200
(13) 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容	201
(14) 介護保険で受けているホームヘルプサービスの内容で困っていること	201
10 その他の福祉サービス等	202
(1) 精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったこと	
- 障害の等級、診断名〔複数回答〕別	202
(2) 医療機関以外の日常の相談先〔複数回答〕	

- 現在一緒に生活している人、診断名〔複数回答〕別	203
(3) 将来暮らしたいところ	
- 年齢階級、住居の種類、現在一緒に生活している人〔複数回答〕別	204
(4) 今後利用したい福祉サービス等〔複数回答〕	
- 年齢階級、診断名〔複数回答〕、平日の日中主に過ごしたところ別	205
<b>第5章 身体障害者・知的障害者・精神障害者の状況</b>	<b>206</b>
1 回答者の概況	206
(1) 回答者の状況	206
(2) 年齢階級	207
2 住居の種類	208
3 一緒に生活している人〔複数回答〕	209
4 収入の状況	209
(1) 収入の種類（主なもの）	209
(2) 平成19年中の収入額（生活保護費を除く）	210
5 障害の状況、健康・医療	210
(1) 障害者手帳の等級、程度	
（身体障害者手帳、愛の手帳、精神障害者保健福祉手帳）	210
(2) 重複障害の状況〔複数回答〕	211
(3) 医療機関の受診の有無	212
(4) 医療費助成等の利用の有無〔複数回答〕	212
6 就労の状況	213
(1) 収入を伴う仕事（作業所、授産施設等を含む）の有無	213
(2) 仕事の種類〔複数回答〕	214
(3) 作業所、授産施設等の利用経験	215
(4) 1週間の就労日数	215
(5) 1週間の労働時間	216
(6) 現在仕事をしていない理由〔複数回答〕	217
7 障害者自立支援法による障害福祉サービス等	218
(1) 障害者自立支援法による障害福祉サービスの利用状況〔複数回答〕	218
(2) 1か月の費用負担額（食費等実費負担は除く）	219
(3) 介護保険で利用しているサービス〔複数回答〕	219

8 地域社会と社会参加等	220
(1) 趣味や社会活動への参加〔複数回答〕	220
(2) 障害のためにあきらめたり妥協したこと〔複数回答〕	221
9 将来どこで暮らしたいか	222
<b>第6章 自由意見</b>	<b>223</b>
1 自由意見(複数回答)	223
(1) 身体障害者	223
(2) 知的障害者	231
(3) 精神障害者	236
<b>第7章 都外施設入所者に対する調査について</b>	<b>241</b>
1 調査の概要	241
2 調査の結果(無回答は省略)	242
(1) 身体障害者	242
(2) 知的障害者	246
(3) 自由意見	251
<b>第8章 その他</b>	<b>253</b>
1 今後の課題	253
2 委員の意見及び感想文	255
<b>第3 付属資料</b>	<b>263</b>
調査票	265
用語の説明	306
【参考】東京都福祉保健基礎調査の実施状況(過去10年間)	318

# 第 1 調査の概要

## 第 1 章 調査の目的等

### 1 調査の目的

身体障害者、知的障害者及び精神障害者の生活実態を把握することにより、東京都における障害者施策の充実のための基礎資料を得ることを目的とする。

### 2 調査の対象

18 歳以上の身体障害者 4,000 人、知的障害者 1,200 人及び精神障害者 800 人

### 3 標本の抽出

調査対象者の抽出は、東京都が保有する身体障害者手帳交付台帳、愛の手帳発行台帳及び精神障害者保健福祉手帳発行台帳から調査に必要な客体数が確保できる規模の抽出率を乗じ、無作為系統抽出した。

(1) 身体障害者：抽出率 1.0% で 4,000 人

身体障害者は、障害種別を 8 層に分けて系統抽出

(2) 知的障害者：抽出率 2.6% で 1,200 人

(3) 精神障害者：抽出率 3.4% で 800 人

系統抽出について

統計単位に一連番号を振り、その番号で一定間隔ごとに抽出する方法である。

### 4 調査の基準日

平成 20 年 10 月 15 日

### 5 調査の事項

(1) 基本的属性

(2) 障害の状況

(3) 健康・医療

(4) 日常生活の状況

(5) 就労の状況

(6) 経済基盤

(7) 社会参加等

(8) 情報の入手やコミュニケーションの手段

(9) 障害者自立支援法による障害福祉サービス等

(10) 施設入所（施設入所者対象）

(11) その他の福祉サービス等

## 6 調査の方法

### (1) 事前調査

東京都から調査対象者に対し、郵送で所在地の確認、調査協力の可否及び手話通訳派遣等の希望について調査を行った。

### (2) 本調査

調査員が調査対象者の世帯を訪問し、調査の趣旨を説明の上、調査員による聞き取り調査を行う面接他計式により実施した。本人回答を原則とするが、不可能な場合は、家族等が代理回答するものとした。

調査対象者の希望があった場合には、点字調査票又は拡大文字調査票による調査を行い、また、手話通訳の派遣も行うよう努めた。

## 7 調査の機構

### (1) 福祉保健局長

管下の職員を指揮監督し、調査の企画、実施及び結果の公表を行う。

### (2) 調査員

福祉保健局統計調査員設置要綱に基づき、知事が任命する。

## 8 根拠規定

(1) 統計調査条例（昭和 32 年 4 月 1 日東京都条例 25 号）

(2) 統計都統計調査条例施行規則（平成 2 年 12 月 21 日東京都規則第 213 号）

(3) 統計都統計調査条例に基づく都指定統計調査の指定等に関する規則（平成 3 年東京都規則第 15 号）

(4) 東京都福祉保健基礎調査要綱（平成 20 年 4 月 1 日）

## 9 集計の対象

平成 20 年 8 月に、各手帳の台帳から無作為に抽出した対象者 12,150 人に対し、郵送により所在確認、調査協力の可否についての調査（事前調査）を実施した。その内訳は次のとおりである。

### 事前調査結果の状況

	事前調査対象者数(A)	調査不能者数			本調査対象数(B)	
		転出	拒否	その他		
身体障害者	7,250人	3,250人	992人	1,347人	911人	4,000人
知的障害者	2,750人	1,550人	415人	661人	124人	1,200人
精神障害者	2,150人	1,350人	130人	745人	475人	800人
合計	12,150人	6,150人	1,537人	2,753人	1,510人	6,000人

調査の協力を承諾する旨の回答を得た 6,000 人に対し、調査（本調査）を実施したが、調査票を回収することができたのは、4,096 人であった。回収状況の内訳は次のとおりである。

#### 本調査回収状況

	本調査対象者数(B)	回答者数(C)	調査不能者数				回答率(C/B)	
			転出	不在	拒否	その他		
身体障害者	4,000人	2,762人	1,238人	118人	211人	683人	226人	69.1%
知的障害者	1,200人	805人	395人	28人	60人	262人	45人	67.1%
精神障害者	800人	529人	271人	22人	62人	156人	31人	66.1%
合計	6,000人	4,096人	1,904人	168人	333人	1,101人	302人	68.3%

#### 最終回収率

	当初対象者数(A)	回答者数(C)	回答者数(C/A)
身体障害者	7,250人	2,762人	38.1%
知的障害者	2,750人	805人	29.3%
精神障害者	2,150人	529人	24.6%
合計	12,150人	4,096人	33.7%

## 10 報告書の構成

「第1章 調査対象者の概要」「第6章 自由意見」では、集計対象者 4,096 人についてまとめた。「第2章 身体障害者の状況」では、集計対象者のうち身体障害者を所持している（他の障害者手帳所持者も含む。）2,762 人について、「第3章 知的障害者の状況」では、集計対象者のうち愛の手帳を所持している（他の障害者手帳所持者も含む。）805 人の状況について記述した。「第4章 精神障害者の状況」では、集計対象者のうち精神保健福祉手帳を所持している（他の障害者手帳所持者も含む。）529 人の状況について記述した。「第6章 都外施設入所者に対する調査について」では、都外施設に入所し郵送に協力いただいた 75 人についてまとめた。



## 11 利用上の注意

- (1) 統計表及びグラフにおける統計数値は、原則として構成比を記載し、構成比の基礎となる総数のみ、実数を併記した。その他、用いた記号は次のとおりである。
  - 「0.0」… 四捨五入により数値を丸めた結果、表示すべき最下位の桁の1に達していない場合の単位未満の数値
  - 「-」… 皆無又は該当数値なし
  - 「…」… 該当数値が不詳、又は不明なもの
- (2) 比率の単位は「%」、実数の単位は「人」である。
- (3) 百分率は、少数点以下第2位を四捨五入した。このため、総数欄が100.0となっても、内訳の合計が100%とならない場合がある。
- (4) この報告書では、障害の種類や年齢など、様々な属性により集計・分析をしているが、集計区分によっては母数が少ないため、活用に当たっては注意が必要である。
- (5) クロス集計表の表側で母数の少ないデータは一部省略したものもある。
- (6) 本文の表中の数値に付けた下線は記述に関連することを示す。
- (7) 「15年度調査」または「前回調査」とは、「平成15年度 東京都社会福祉基礎調査(障害者の生活実態)」をいう。
- (8) この調査は、調査員が訪問し、調査対象者に趣旨を説明の上、聞き取り調査を行う面接他計式によって実施し、質問間の回答に矛盾が出ないように努めた。

また、原因の明確なものは審査及び集計作業の段階で極力排除した。ただし、障害者手帳等の提示を求めるなどはしておらず、回答していただいたものを尊重した。
- (9) 「身体障害者の総数」については、障害種別ごとに異なる抽出率によって合計された割合となっているため、抽出率を一律に補正するためのウェイトバック集計(回収されたサンプル数を実際の母集団の構成に合わせて集計する方法)により、ある結果についていくつか試みた。その結果、補正する前と補正した後(ウェイトバック集計により)の割合に大きな誤差はみられなかったため、「身体障害者の総数」については、障害種別ごとに異なる抽出率によって合計された数値及び割合の結果とした。

(参考) 抽出率

・東京都が保有する身体障害者手帳交付台帳、愛の手帳発行台帳及び精神障害者保健福祉手帳発行台帳から抽出している。

	母集団の数 (N)	標本数(n)	推定標本誤 差(d)	抽出率 (n / N)
身体障害者総数	405,807	4,000	1.5%	0.010
視覚障害	36,129	560	4.1%	0.016
聴覚・平衡機能	36,829	560	4.1%	0.015
音声・言語・そしゃく機能	6,098	360	5.0%	0.059
肢体不自由	222,159	1,520	2.5%	0.007
上肢	66,684	390	4.9%	0.006
下肢	85,839	400	4.9%	0.005
体幹	66,756	390	4.9%	0.006
脳原性運動機能障害	2,880	340	5.0%	0.118
内部障害	104,592	1,000	3.1%	0.010
知的障害者	46,821	1,200	2.8%	0.026
精神障害者	45,058	800	3.4%	0.018
身体・知的・精神障害者 合計	497,686	6,000	-	0.012

・資料は、月報(福祉・衛生行政統計)「平成20年3月」における18歳以上の数である。(但し、精神障害者は18歳未満を含む。)

・肢体不自由者の内訳は月報(福祉・衛生行政統計)からは分からないため、前回調査時の肢体不自由(母集団の数)の内訳の割合を用いた。

・推定標本誤差率の求め方 (α信頼度95%、p母比率50%)

$$d=1.96 \times (N - n) \div (N - 1) \times (0.25 \div n)$$

・標本誤差とは、例えば音声・言語・そしゃく機能障害者の標本数(n)360人に聞いたある項目(例えば賛否)の調査結果の賛成率が50%:反対率が50%だったとする。このときに音声・言語・そしゃく機能障害者の母集団6,098人に対する標本数360人の調査結果の標本誤差は±5%なので、音声・言語・そしゃく機能障害者の調査結果は賛成も反対も50%の±5%、つまり45%~55%の間にあるとみなす。

## 12 調査項目

本調査は、本報告書の巻末に掲載した3種類の調査票(調査票1「身体障害者用」、調査票2「知的障害者用」、調査票3「精神障害者用」)により実施した。各調査票における設問及び調査項目は次のとおりである。

以下の設問中で「あなた」とは、「障害を持つ本人」のことである。

〔複〕とあるのは複数回答となっているものである。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	設問要約	設 問
	はじめに	はじめに	はじめに	回答者	回答者はどなたですか。
基本的属性	問1	問1	問1	性別	あなたの性別はどちらですか。
	問2	問2	問2	年齢	あなたの年齢は何歳ですか。
	問3	問3	問3	現在の生活の場	現在の生活の場はどこですか。
	問4	問4	問4	住まいの種類 (在宅者対象)	あなたの住まいの種類は次のどれですか。
	問4-1	問4-1	問4-1	一緒に暮らしている人〔複〕	あなたは現在、だれと一緒に生活していますか。
	問4-2	問4-2	問4-2	配偶者の手帳所持〔複〕	配偶者は手帳所持者ですか。
	問5	問5		入所施設の種類	あなたが現在入所している施設はどれですか。
	問5-1	問5-1		入所施設の定員	あなたが現在入所している施設の定員は何人ですか。
障害の状況	問6			身体障害者手帳の障害の種類〔複〕	あなたの身体障害者手帳に記載されている障害名は何ですか。
	問6-1	問7-1		身体障害者手帳の障害の等級	あなたの身体障害者手帳に記載された障害の程度(総合等級)を次の中から1つ選んで をしてください。
	問10-1	問6		愛の手帳の程度	あなたがお持ちの愛の手帳は何度ですか。手帳に記載された障害の程度をお答えください。
			問5	精神障害者保健福祉手帳の等級	あなたの精神障害者保健福祉手帳に記載された障害の程度は何級ですか。当てはまるもの1つに をしてください。
	問7			障害を持った時期	あなたが障害を持ったのはいつですか。当てはまるもの1つに をつけ、2番を選んだ場合は、年齢を ( ) 内に記入してください。複数の障害をお持ちの方は、最初に障害を持った時期についてお答えください。
		問7		愛の手帳以外に所持する手帳の種類〔複〕	あなたは愛の手帳以外の手帳をお持ちですか。
	問8			主な障害の原因	主な障害についてお聞きします。その障害の原因は何ですか。当てはまるもの1つに をしてください。
	問9			障害の疾病名〔複〕	あなたの障害の疾病名は何ですか。
	問10			身体障害者手帳以外に所持する手帳の種類〔複〕	あなたは身体障害者手帳以外の手帳をお持ちですか。当てはまるものすべてに をしてください。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	設問要約	設問
障害の状況			問6	初診時の年齢	あなたが病院、診療所等の医療機関で、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）の診断を受けたときの初診時の年齢はいくつですか。
			問7	診断名〔複〕	もし、よろしければあなたの診断名について、当てはまるものすべてに をしてください。
			問8	精神障害者保健福祉手帳以外の手帳の所持〔複〕	あなたは精神障害者保健福祉手帳以外の手帳をお持ちですか。
健康・医療	問11	問8		過去1年間の受診の有無	あなたは過去1年間に受診したことがありますか。（障害に起因する場合に限らず、すべての病気・ケガ等を含む）
	問12	問9	問12	過去1年間の医療費助成等の利用の有無〔複〕	あなたは過去1年間に医療費助成等を利用しましたか。
			問9	通院状況（調査基準日現在）	あなたは、平成20年10月15日（調査基準日）現在、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で通院していますか。
			問9-1	通院に要する時間	あなたが通院に要する片道の時間はどれくらいですか。
			問9-2	通院に要する交通手段〔複〕	あなたが通院の際に利用する交通手段は何ですか。
			問9-3	通院に要する片道の交通費	あなたが通院の際に要する交通費はどれくらいですか。
			問10	入院経験の有無	あなたは、精神疾患にかかわる病気（てんかんを含む）で、病院、診療所等の医療機関への入院経験がありますか。
			問10-1	これまでの精神疾患にかかわる入院回数	これまで、精神疾患にかかわる病気（てんかん含む）で何回入院したことがありますか。
			問10-2	現在の入院期間	平成20年10月15日（調査基準日）現在、入院期間はどれくらいですか。
			問11	過去1年間の精神疾患以外の受診の有無	あなたは過去1年間に精神疾患（てんかんを含む）以外の病気やケガなどで医者にかかったことはありますか。
			問12-1	過去1年間の医療費助成の自己負担額（自立支援医療を利用した方）	1か月の自立支援医療（精神通院医療）の自己負担額は、平均でどれくらいですか。
日常生活の状況	問13	問10	問13	日常生活動作能力	あなたは次の動作について、自分一人ですることができますか。（できる、できないの判断について現に補装具等を使用している方は、使用した状態で判断してください。）
		a	a		食事をとる
		b	b		家事（調理、洗濯、掃除）をする
			a		食事のしたくや後片付け
			b		掃除、洗濯（干してたたむまでを含む）
		c	c		トイレを使う
		d	d		着替えをする
		e	e		入浴をする
		f	f		寝返りをする
		g	g		家の中を移動する

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	設問要約	設 問
日常生活の状況	h	h		日常生活動作能力	外出する
	i	i	c		日常の買い物
			d		身だしなみ
			e		お金の管理
			f		薬の管理（決まった時間に飲むなど）
			g		銀行、郵便局等の利用
			h		バス、電車等の利用
			問14		過去1年間で困ったこと〔複〕
就労の状況	問14	問11	問15	収入を伴う仕事の有無（調査基準日現在）	あなたは平成20年10月15日（調査基準日）現在、収入を伴う仕事をしていますか。
	問14-1	問11-1	問15-1	仕事の種類〔複〕	仕事の種類は何ですか。
	問14-2	問11-2	問15-2	1週間の就労日数	1週間の就労日数は、どのくらいですか。
	問14-3	問11-3	問15-3	1週間の労働時間	1週間の労働時間は、どのくらいですか。
	問14-4		問15-4	現在の就職先に就職時、障害をもっていたか	現在の就職先に就職したのは障害を持つ前ですか、それとも持った後ですか。
	問14-5	問11-4	問15-5	現在の仕事先を紹介された経路〔複〕	どこ（誰）の支援を受けて現在の仕事に就きましたか。
	問14-6	問11-5	問15-6	現在の仕事に就いてからの期間	現在の仕事についてからの期間はどれくらいですか。
	問14-7	問11-6	問15-7	仕事をしていく上で困ること〔複〕	仕事をしていく上で困ることは何ですか。
	問14-8	問11-7	問15-8	仕事で困ったときの相談相手〔複〕	仕事で困ったことがあったとき、誰に相談しますか。
	問14-9	問11-8	問15-9	作業所・授産施設等の利用経験の有無	これまでに、作業所や授産施設等を利用したことがありますか。
	問14-10	問11-9	問15-10	仕事をしていない理由〔複〕	現在、仕事をしていない理由は何ですか。
	問14-11	問11-10	問15-11	過去の一般就労経験の有無	あなたは、過去、会社等で働いたこと（パート、アルバイト等を含む。）がありますか。
	問14-12	問11-11	問15-12	今後の一般就労意向	今後、会社等で働きたい（パート、アルバイト等を含む。）と思いますか。
	問14-13	問11-12	問15-13	一般就労をしていない理由	現在、会社等で働いていない（パート、アルバイト等を含む。）のはなぜですか。
経済基盤	問15	問12	問16	収入の種類〔複〕	平成19年中のあなたご自身の収入の種類についてお聞きします。主なもの1つとその他該当するものがあれば2つまで 欄に番号を記入してください。
	問15-1	問12-1		年金・手当等の収入額	平成19年中における年金・恩給、手当のそれぞれの収入額はいくらですか。
	問16	問13	問17	年間収入（生活保護費を除く）	あなたの平成19年中の収入額はいくらですか。収入には、ご自身で働いて得た収入や福祉作業所などからの収入のほか、あなたの年金・手当による収入や家族からの仕送りや小遣いを含みますが、生活保護費は除きます。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	設問要約	設問
社会参加等	問17	問14	問18	平日の日中主に過ごす場所	この1年間にあなたは、平日の日中主にどこで過ごしましたか。
	問17-1	問14-1	問18-1	現在利用している施設の不満〔複〕	あなたは現在利用している施設に対して不満はありますか。
	問18	問15	問19	過去1年間に行った活動等〔複〕	この1年間にあなたは、趣味や学習、スポーツ、社会活動などの活動をしましたか。
	問19	問16	問20	社会参加する上で妨げになっていること〔複〕	あなたが社会参加をする上で、妨げになっていることはありますか。
	問20	問17	問21	障害のためにあきらめたり、妥協したこと〔複〕	あなたは、障害を持っているためにあきらめたり、妥協せざるを得なかったことがありますか。
情報の入手やコミュニケーションの手段	問21			情報の入手方法（視覚障害）〔複〕	あなたは、「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会」のそれぞれの場所において、どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。それぞれの場所においてあてはまるものすべてに をしてください。
	問21-1			情報を入手する上で困ること（視覚障害）〔複〕	あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。
	問22			情報の入手方法（聴覚障害）〔複〕	あなたは、「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会」のそれぞれの場所において、どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。それぞれの場所においてあてはまるものすべてに をしてください。
	問22-1			情報を入手する上で困ること（聴覚障害）〔複〕	あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。
		問18	問22	情報の入手方法〔複〕	あなたは、「学校・施設・職場」「家庭」「地域社会」のそれぞれの場所において、どのようにして情報を得たり、コミュニケーションをとったりしていますか。それぞれの場所においてあてはまるものすべてに をしてください。
		問19	問23	情報を入手する上で困ること〔複〕	あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとる上で困ることがありますか。
	問23			意思を伝える場合に困ること〔複〕	あなたは、障害があるため、意思を伝える場合に困ることがありますか。
	問24			情報を入手したり、コミュニケーションを円滑にするために、日常生活用具給付等事業で利用している日常生活用具〔複〕	あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションを円滑にするために、日常生活用具給付等事業で利用している日常生活用具はありますか。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	設問要約	設問
障害者自立支援法による障害福祉サービス等	問25	問20	問24	障害者自立支援法による障害福祉サービスの利用の有無とサービス内容（在宅で生活している方） 〔複〕	過去1年間に障害者自立支援法による障害福祉サービスについて、どのような内容のサービスを利用しましたか。
	問25-1	問20-1	問24-1	居宅介護等サービスの種類〔複〕	あなたが利用した居宅介護等のサービスの種類は何ですか。
	問25-2	問20-2	問24-2	サービスの支給量（居宅介護等サービス利用者）	あなたが利用したサービスについて、支給量は十分だと思いますか。
	問26	問21	問25	障害程度区分（在宅で生活している方）	あなたの障害程度区分はいくつですか。
	問27	問22	問26	自立支援法における障害福祉サービスの費用負担（自立支援法のサービス利用者）	あなたの自立支援法における障害福祉サービスの費用負担についてお聞きします。1か月にあなたが負担した額（食費等実費負担は除く）はいくらですか。平成20年9月の負担額について、当てはまるもの1つにしてください。
		問23	問27	日常生活自立支援事業の利用（予定）の有無	あなたは日常生活自立支援事業（従来の地域福祉権利擁護事業）を利用するつもり（予定）がありますか。
		問24	問28	成年後見制度の利用（予定）の有無	あなたは、成年後見制度を利用するつもり（予定）がありますか。
	問28	問25	問29	介護保険制度利用の有無（調査基準日現在、40歳以上の方）	あなたは、介護保険制度を利用していますか。
	問28-1	問25-1	問29-1	要介護度（介護保険制度利用者）	あなたの要介護度は何度ですか。
	問28-2	問25-2	問29-2	介護保険法におけるサービスの費用負担（介護保険制度利用者）	あなたの介護保険法におけるサービスの費用負担についてお聞きします。1か月にあなたが負担する額（食費等実費分は除く）はいくらですか。
	問28-3	問25-3	問29-3	介護保険でどのような在宅サービスを受けているか（介護保険制度利用者） 〔複〕	あなたはどのような内容の在宅サービスを受けていますか。
	問28-4	問25-4	問29-4	介護保険のホームヘルプサービスの内容（ホームヘルプサービス利用者）	あなたが受けているサービスの内容は何ですか。
	問28-5	問25-5	問29-5	サービス内容で困っていること（ホームヘルプサービス利用者） 〔複〕	サービス内容で困っていることはありますか。

大項目	身体障害者	知的障害者	精神障害者	設問要約	設問
施設入所 (施設入所者対象)	問29	問26		入所を決めた人	入所を決めた人は誰ですか。
	問29-1	問26-1		入所を決めた理由〔複〕	入所を決めた理由は何ですか。
	問30	問27		入所年数	あなたは、今の施設に入ってからどれくらい(何年)になりますか。
		問28		入所施設数	あなたが今までに入った施設は、何か所ですか。(今の施設数も入れて数えてください。)
	問31	問29		不満の内容〔複〕	あなたは、施設での生活に不満はありますか。
その他の福祉サービス等			問30	精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったこと	精神障害者保健福祉手帳を取得して良かったと思うことはありますか。
			問31	医療機関以外の相談相手	あなたは、医療機関以外で日常の相談をするのは誰ですか。
	問32	問30		困ったときの相談先〔複〕	あなたは、何か困ったことがあったとき、どこ(誰)に相談しますか。
	問33	問31	問32	将来暮らしたいところ	あなたは、将来どこで暮らしたいと思いますか。
	問34	問32		地域で生活する上で、必要な福祉サービス〔複〕	あなたが、地域生活をしたり、しようとする上で、必要な福祉サービス等は何ですか。
		問33	今後利用したい福祉サービス〔複〕	あなたが今後利用したい福祉サービスは何ですか。	
自由意見				《自由に意見を記述》	家族のこと
					生きがいのこと(したいこと、ほしいもの、行きたいところなど)
					生活の中での納得のいかない経験等
					震災時、事故発生時など緊急時に困ったこと、不安に思うこと
					東京都・区市町村に望むこと その他

(注意)異なる種類の調査票において、ほぼ同一の設問分で問われている調査項目については、本表では便宜上まとめて掲げてある。ただし、選択肢の数などその内容は調査票の種類ごとに多少異なっている。



## 第2章 調査実施までの経過

東京都福祉保健局では、今回の実施に当たっては、平成20年5月から各障害者団体と協議を重ね、また、平成20年6月、福祉保健局内に学識経験者、各障害者団体代表者及び都関係各部代表者からなる検討委員会を設置し、調査内容、調査方法等について議論を重ねるとともに、三障害者を対象とした調査についての検討を行い、平成20年10月15日から平成20年11月14日までを期間とし、身体障害者、知的障害者及び精神障害者を対象とした調査を実施した。調査実施までの経過は以下のとおりである。

平成20年5月 (平成20年6月～7月)	東京都障害者団体連絡協議会にて調査の実施について説明 (東京都障害者団体連絡協議会委員との意見交換)
平成20年6月	平成20年度東京都福祉保健基礎調査 第1回検討会開催(委員は別表のとおり)
平成20年7月	平成20年度東京都福祉保健基礎調査 第2回検討会開催
平成20年8月	事前調査実施
平成20年10月15日～ 平成20年11月14日	調査実施(平成20年10月15日調査基準日)
平成20年11月～12月	都外施設入所者調査実施
平成21年2月	平成20年度東京都福祉保健基礎調査 第3回検討会開催
平成21年8月	平成20年度東京都福祉保健基礎調査 第4回検討会開催

## 平成20年度 東京都福祉保健基礎調査検討委員会委員

氏名	現職等	備考
学識経験者		
池末 亨	東日本国際大学名誉教授	
佐藤 久夫	日本社会事業大学社会福祉学部教授	
中野 敏子	明治学院大学社会学部教授	
障害者団体		
橋本 勝行	(社)東京都肢体不自由者父母の会連合会会長	東京都障害者団体連絡協議会
市橋 博	障害者と家族の生活と権利を守る都民連絡会事務局長	東京都障害者団体連絡協議会
山内 美代	(福)東京都知的障害者育成会理事長	東京都障害者団体連絡協議会
寺田 純一	東京青い芝の会副会長	
伊藤 雅文	障害者の生活保障を要求する連絡会議事務局長	
山本 創	難病を持つ人の地域自立生活を確立する会代表	(平成20年6月～平成20年7月)
山下 和子	NPO(特定非営利活動法人)わくわくかん	東京都精神保健福祉民間団体協議会
障害者本人		
山田 憲二郎	(福)東京都知的障害者育成会本人部会代表	
佐々木 信行	ピープル・ファースト東京事務局長	
宮澤 秀一	トライ・ザ・ブルースカイ代表	
行政関係者		
東京都福祉保健局障害者施策推進部計画課長		
東京都福祉保健局障害者施策推進部自立生活支援課長		
東京都福祉保健局障害者施策推進部居住支援課長		
東京都福祉保健局障害者施策推進部精神保健・医療課長		
事務局		
東京都福祉保健局総務部総務課長		
東京都福祉保健局総務部副参事(広報担当)(平成21年6月～平成21年7月)		
東京都福祉保健局総務部副参事(情報化推進担当)(平成21年7月～)		

敬称略